

安倍官邸 vs. NHK

写真は昨年 12 月 25 日に刊行された話題の書。著者の相澤冬樹さんの講演を思い出しながら、本書を一気に読み進んだ。多くの人に読んでもらいたいので、相澤さんへの刊行後のインタビューを掲載した中日新聞 2018 年 12 月 29 日「特報」を紹介したい。



リードから一森友学園問題でスクープを連発した元 NHK 大阪放送局記者の相沢冬樹さん(56)が書いた「安倍官邸 VS. NHK」が発売された。政権に不都合な特ダネを抑えようとする上層部とのせめぎ合いを描くノンフィクション。記者職を外されたとして、現在は大阪の地方紙「大阪日日新聞」に転職。「本当に視聴者の方を向いた報道ができていますか？」と 31 年間在籍した古巣に問い掛ける。

「森友問題では、かつてないような局内の圧力にさらされた」 そう話す相沢さんが指摘するのが、2017 年 7 月 26 日、司法担当キャップとして書いた特ダネへの反応だ。財務省近畿財務局が森友学園に国有地を格安で売却する際、学園が支払える上限額を事前に聞き出していたという内容。夜の「ニュース 7」で報じると、「私は聞いてない。なぜ出したんだ！」と大阪放送局の報道部長の携帯電話に何度もかかった。

電話の主は全国の報道部門トップにいる報道局長で、怒号がその場にいた相沢さんたちにも漏れ聞こえた。局長は政治部畑を歩み、官邸とも太いパイプがあるとされる。報道内容に細かく指示を出し、現場は萎縮していたという。

「電話を受けた部長は『あなたの将来はないと思え、と言われちゃいました』と苦笑した。取材した私にも、いずれ人事で跳ね返るとピンときた」。翌朝の続報は書き直され、「おはよう日本」での放送時間も目立たない後ろの時間帯に移った。

今年 3 月、朝日新聞が「財務省が公文書書き換え」と報じた後も「圧力」があった。看板番組の一つ「クローズアップ現代+」で取り上げることになり、相沢さんは「問題発覚直後、財務省側が『トラック何千台もごみを搬出したことにしてほしい』と学園側に電話をかけていた」という特ダネを打つ。役所がうその「口裏合わせ」を求めているという内容だ。

ところが、午後 7 時と 9 時のニュースでは報じられたものの、「クロ現」での放送は見送られた。放送当日の 4 月 4 日、東京の社会部デスクが電話でこう話したという。「野党議員が『今日、NHK が森友の特ダネを出すから見ろ』と言い回っている。報道局長に伝わり『情報が漏れた』と激怒している」

相沢さんは「なんで出さないんですか！」と抗議したが、覆らなかった。このニュースは NHK 内での賞も受けたが、6 月の異動で記者職を外され、番組の評価などをする考査部へ。8 月末に NHK を退職した。

「私たちの取材費は国民の受信料から出ている。だからこそ公共放送として高水準の報道が求められる。これまで NHK の政治報道は、国会に人事と金を握られる放送法の仕組みの中で、偏らないよう折り合いを付けてきた」

ところが、それが最近変わったとみる。「クロ現」のキャスターが変更されたところから「政権べったり」と言われるようになった。自民党総裁選直前の9月の北海道地震では、死者数などを「首相発表」と強調するニュースが繰り返され、安倍晋三首相の PR のようだと批判された。

NHK 広報局は「報道機関としての自律的な編集判断に基づいて放送しており、報道局長の意向で報道内容を恣意的に歪めた事実はありません」としている。

相沢さんは「メディアに忖度と自己保身がはびこっていないか」と疑問視。「森友問題はまだ終わっていない」と、今後もライフワークとして発信していくつもりだ。

(2019年2月5日)